

令和8年度 不二越工業高等学校野球部 部員総数 43名

責任教師	國友 賢司
監督	鈴木 新伍
コーチ	藤井 貴之
1年生	12名
2年生	20名
3年生	11名

令和8年度 県春季大会の結果										
1回戦(4/19 黒部宮野)										
チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
魚津	4	0	0	0	5	0	0	0	0	9
不二越工	4	2	1	2	0	0	0	0	1X	10
2回戦(4/27 黒部宮野) (8回コールドゲーム)										
チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
富山いずみ	2	1	1	0	0	1	0	0	0	5
不二越工	0	3	0	0	0	3	1	5X		12
3回戦(4/29 富山県営)										
チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
不二越工	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
高朋	0	0	0	0	3	0	0	0	X	3



会員の皆様方へ

硬式野球部監督 鈴木 新伍

後援会の皆様には平素より本校硬式野球部の活動に対し、格別のご支援とご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。今年度は新入生12名を迎え、部員総数43名（1年生12名、2年生20名、3年生11名）で活動しております。2025～2026チームスローガン「常勝・常昇・常笑」のもと、3年生の持ち味である明るさをチーム全体の力へとつなげながら、日々の練習に励んでおります。昨秋の大会でベスト8に進出したことにより、シード校として臨んだ春季大会では、初戦となる2回戦で魚津高校と対戦しました。序盤から一進一退の攻防が続きましたが、9回サヨナラで10対9の勝利を収めました。続く3回戦では富山いずみ高校に12対5（8回コールド）で勝利し、夏の大会のシード権を獲得しました。しかし、準々決勝では高朋高校に2対3で惜敗し、2年連続となるベスト4進出は果たせませんでした。悔しさの残る結果ではありましたが、大会を通じて多くの経験を積むとともに、今後に向けた課題を明確にすることができました。

大会後には選手権大会に向けたミーティングを行い、チーム目標を「優勝」、「甲子園で校歌を歌う」と決めました。また、2週にわたる遠征を行い、県外の強豪校や大学生との試合を通して大きな刺激を受け、新たな課題の発見もつながりました。

選手権大会まで残り1ヶ月となりました。オープン戦や実習練習で明らかになった課題に対し、ミーティングや課題練習を重ねながら、一人ひとりが着実に成長し、万全の状態大会に臨めるよう準備を進めております。

6月26日の抽選会を皮切りに、7月7日の開会式、そして7月10日から25日まで選手権大会が開催されます。部員一人ひとりが一球、一プレーに思いを込め、一戦必勝で戦い抜いてまいります。そして、日頃より支えてくださる皆様への感謝の気持ちを夏2度目の甲子園出場という結果でお返しできるよう、部員・指導者一同、全力を尽してまいります。

今後とも変わらぬご支援と温かいご声援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

選手権大会に向けて

主将 磯辺 大夢

今年のチームは、一人ひとりが個性を持ち、明るい雰囲気が自慢のチームです。それぞれの個性を活かしながらもチームとして一つになって戦えるよう、日々の練習に取り組んできました。また、その明るさで苦しい練習も全員で声を掛け合いながら乗り越えてきました。

秋季大会、春季大会ではともにベスト8という結果に終わり、目標としていた優勝を果たすことができませんでした。とても悔しい結果でしたが、この経験が無駄にせず、チーム全員でさらに成長できるよう努力を続けてきました。

夏の選手権大会では、目標である甲子園出場を達成し、これまで支えてくださった後援会の皆様や保護者の方々、地域の皆様に良い結果で恩返しができるよう、一戦必勝の気持ちで最後まで全力で戦い抜きます。

今後とも温かいご声援をよろしくお願いいたします。

第108回全国高等学校野球選手権 富山大会予定

期日：令和8年7月10日(金)～25日(土)雨天順延 場所：富山市民球場ほか

組み合わせ、詳細は <https://www.toyama-hbf.jp> 富山県高等学校野球連盟 HPを検索願います。

⓪⓪⓪⓪⓪今年最後の夏、現3年生にエールを!!⓪⓪⓪⓪⓪

3年生 夏の大会に向けて一言					
大澤 勇斗	レフトあけといってください	磯部 大夢	必ず甲子園出場します	砂田 汰樹	2026年成し遂げます
入谷 僚乙	ライトスタンドからかちこみます	平野 柊	一生懸命頑張ります	橋本 優心	今年は暴れます
三鍋 桜太	150*を出します	三澤 一稀	全球ミットにおさめます	吉田 紘	全部さばきます
南 凱太	気合でいきます	斎藤 立春	三男坊がんばります		

令和8年度OB後援会の総会・懇親会のお知らせ／担当：S52卒 成瀬雅昭

去年は久しぶりに集い会うことができました。その様子を北日本新聞「仲間と集う」に投稿したところ、2026(令和8年)1月13日付で掲載されました。文面通り年齢差57歳という歴史を感じさせる集いとなり、皆さん満足げに次の懇親会で会う約束をしておられました。この集まりを楽しみにしておられる年配OBの方々がおられます。来年は創校90年の節目を迎えます。その準備企画など皆さんのご意見も承りたく、ぜひ参加のほどお待ちしております。

と き：令和8年11月21日(土)

総会 18：00～

懇親会 18：30～

ところ：ホテルグランテラス富山（旧名鉄ホテル）

会 費：5,000円、20歳未満は、3,000円

◇◇硬式野球を頑張って続けているOBたち◇◇

◆大学・専学野球

樋渡 子竜（富山国際大3年）・吉倉 遼輔（中部学院大3年）

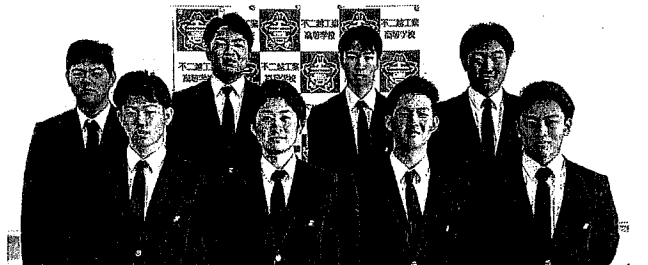
青井 唯生（同朋大2年）・荒矢 孔希（北陸大2年）

大津賀勇貴（東京学院大1年）

小林虎太郎（日本プロスポーツ専門学校1年）

応援よろしく
お願いします

◆今年3月卒業の新会員(よろしく願います)◆



同窓野球部後援会では、野球部以外の各部活の活躍に関してもこの誌面等で応援しています。今号は、盛りだくさんの話題があり掲載できなかったため、本校HPで確認をお願いします。 <https://www.fujikoshiko.ac.jp>

●●●物故会員ご家族様から寄贈のお知らせ●●●

右の写真は、昭和28年卒OBの故 村井豊明さんの奥様から、ご主人が大切にしておられた我が野球部が甲子園第75回大会に出場した時の記念誌「初陣」や記念テレホンカード、村井さんが乗車された応援バスの乗車札などを手紙を添えて寄贈してくださったものです。その際には過分の寄付金も頂きました。

村井さんは、生涯野球「おとうさんの甲子園」に参加することが楽しみで80歳頃まで野球を楽しんでおられたということです。

11月のOB総会に持参予定ですので、皆さんにもご覧いただければと思っています。



↑出場記念誌「初陣」最初の見開きの新聞記事と写真

◇◇本校野球部に毎年の協賛・支援金をいただいている皆様のご紹介(敬称略)◇◇

- | | | | |
|------|---------------|-------------------|---------------|
| 企業会員 | ○(株)ナチロジスティクス | ○(株)伸栄商会 | ○(株)不二越コムサービス |
| | ○西田工業(株) | ○(株)ナチベアリング製造 | ○(株)ナチ立山ベアリング |
| | ○(有)斎藤産業 | | |
| 一般 | ○アトジンヤ | ○高澤裕司(現教頭・元野球部監督) | |



令和7年度決算報告

(令和7年6月～令和8年5月)

不二越工業高校同窓野球部後援会

収入の部

摘 要	予 算	決 算	備 考
1. 会費			
1) 法人会員	200,000	84,000	7件
2) 一般会員	40,000	4,000	2件
3) OB会員	190,000	106,000	40件
2. 定期総会	200,000	0	
3. 繰越金		2,017,908	令和6年度の繰越金
4. 利息		725	
5. 寄付金		20,000	昭和28年卒 村井豊明さん
合 計	630,000	2,232,633	

支出の部

摘 要	予 算	決 算	備 考
1. 事務通信費	120,000	48,450	切手、はがき
2. 会報発行費	110,000	110,000	会報印刷
3. 定期総会	250,000	176,000	
4. 事業費	190,000	21,060	卒業生野球部入会式(お弁当代)
5. 他クラブ補助費	50,000	20,000	マスターズ甲子園富山県年会費
6. 雑費		48,450	総会往復はがき印刷および発送
7. 予備費		16,755	振込手数料
合 計	720,000	440,715	

差引き金額	1,791,918
-------	-----------

「会費」 法人会員7件 一般会員2件 OB会員40件

「次年度繰越金」 北陸銀行758,406+通常貯金1,791,918+ゆうちょダイレクト204,515+現金10,000

会計監査

会計帳簿、領収書、貯金通帳の照合、点検並びに担当者に対して質問を行い、監査を実施しました。

その結果、すべてに間違いのないことを確認し、ここに証明します。

令和8年6月11日

会計監査 杉田 恒雄



不二越工業高等学校
同窓野球部後援会

後援会報

頂点へ!ふたたび

2026年7月 発行35号

事務局 藤井 貴之

不二越工業高校 内

TEL (076) 425-8304

<https://www.fujikoshiko.ac.jp>

守りから攻に

同窓野球部後援会会長 高田 睦男

平素より後援会の皆様におかれましては、野球部の運営に対し、ご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。特に学校関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

いよいよ夏の大会が始まります。今年のチーム力を分析しますと、走攻守のバランスが良く例年のチームより頭一つ抜けているように思います。

野球にはミスがつきものです。いかにミスの少ない試合運びとなるかがポイントです。

そのためには、基本を徹底し『守りから攻』に繋いでください。

3年生には最後の大会です。先の事は考えず、その日その日の試合に全力で力を出し切り、悔いの残らない夏にしてください。期待しています。

OBの皆様におかれましては、是非とも球場で応援してやってください。

OBの応援は何よりも励む力になります。「ガンバレ 後輩たち」

ごあいさつ

学校長 戸田 雅規

後援会各位様には平素から本校野球部の活動並びに本校の運営にご支援、御配慮を賜り、深く感謝いたします。

今シーズンは古豪の富山商業高校が復活し、昨年甲子園出場の未来高等学校富山や常連の富山北部、富山第一、高岡第一の各高校から一歩抜け出し、春の県大会で優勝と、県内高校球児全員が切磋琢磨しております。

その中で本校は、春の県大会で3年生の三鍋、砂田投手が踏ん張り、二回戦でシード校の魚津高校に10対9で競り勝ち、三回戦は富山いずみ高校に12対5の8回コールドでベスト8に進出しました。そして準々決勝の高朋高校戦では序盤までリードしていたので、昨年度同様に準決勝進出かと楽観していたところ、終盤で2対3と惜しくも逆転負けしてしまいました。二回戦の魚津高校戦は、ゴールデンウィークの休暇中だったので私自身も黒部宮野球場へと応援に向かいました。シード校初陣同志の試合は緊張のせいかミスも重なり、双方が点を取り合うシーソーゲームとなってハラハラの連続でしたが、9対9の同点で迎えた9回裏にサヨナラの1点で辛うじて勝ち越せた試合でした。その時のスタンドには野球部OBはもちろん、高校や本体不二越OBも選手の活躍を応援しに多数来場し、大きな盛り上がりの中で、選手たちはそんな方々の期待に応え、善戦してくれたのだと思います。

さて、これから本番の夏の大会に向います。春のベスト8進出で本校はシード権を獲得したものの、抽選次第ではいきなり上位入賞校と対戦する可能性があり楽観はできません。しかし、どの高校と対戦にしようとも選手たちは、春の接戦で敗れた高朋戦の悔しさをバネに猛練習を重ね、必ず悔いのない試合をしてくれるものと信じております。本会報がお手元に届く頃には勝敗も決しているかも知れませんが、今年も高校野球を通して学校全体が盛り上がることを大いに期待しています。

さて、本年の新入生は少子化や県内中学生のものづくり離れが進む中、県内高校の公私比率撤廃や私学授業料無償化の追い風を受け、定員135名を上回る145名が入学し、5クラスを維持できる人数を確保できました。強化部である野球部も、昨年度少人数だった3年生に代わり、新1年生が12名入部し部員も増え、総勢43名のチームとなりました。入学式で宣誓した宮原君をはじめ、スポーツだけではなく成績もいい文武両道の生徒たちが多数入部してくれました。このような状況のもと、選手諸君は明日の甲子園を夢見て、日々頑張っています。

さらに今年度から甲子園出場経験のある野球部OBの藤井貴之先生が、新たに顧問(責任教師)として加わり、監督の鈴木新吾先生や國友堅司先生を中心に、歴代野球部OBのご支援を賜り、新しい不二越のチームカラーを作ってくれるものと期待しています。多少時間は必要だと思いますが、昨年チームは上向きに調子よく、他の上位校と実力が拮抗する中で、あと一歩のところで惜敗するパターンを繰り返したことで、問題点をしっかりと判明でき、それゆえ甲子園出場は夢ではなく、学校全体で盛り上げていきますので、関係各位のご健勝をお祈りしつつ、より一層のご支援と応援をお願いする所存でございます。